

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2025年4月30日

京都府知事 様

病院名 京都第二赤十字病院

開設者 日本赤十字社 社長 清家 篤

医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令（平成14年厚生労働省令第158号）第12条に基づき、年次報告書を提出いたします。

また、併せて、同省令第9条に基づき、① 研修プログラムの変更、② 研修プログラムの新設を届け出ます。

（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

① 基幹型臨床研修病院 ② 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

・項目番号1から27までについては、年次報告において記入してください。

・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号28から38までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－1－

病院施設番号：

030477

臨床研修病院の名称：京都第二赤十字病院

記入日：西暦 2025年4月30日

病院施設番号 <small>(基幹型、協力型記入) 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。</small>		030477		臨床研修病院群の名称 <small>(基幹型、協力型記入) 既に臨床研修病院群番号を有している臨床研修病院群については、番号も記入してください。</small>		名称 京都第二赤十字病院 番号 0304775	
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>(基幹型、協力型記入) 本報告書の問合せに対して回答できる作成責任者について記入してください。</small>		フリガナ カワサキ トモコ 氏名 (姓) 川崎 (名) 智子		役職 教育研修課長 (内線 : 8139) (直通電話 : 075-212-6238) e-mail : kensyu@kyoto2.jrc.or.jp			
1. 病院の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>		フリガナ キョウトダイニセキジュウジヨウイン 京都第二赤十字病院					
2. 病院の所在地及び二次医療圏の名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small>		〒 602-8026 京都府京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町355-5 電話 : 075-231-5171 FAX : 075-256-3451 二次医療圏の名称 : 京都・乙訓					
3. 病院の開設者の氏名 (法人の名称) <small>(基幹型・協力型記入)</small>		フリガナ ニホンセキジュウジシャ シャチョウ セイケ アツシ 日本赤十字社 社長 清家 篤					
4. 病院の開設者の住所 (法人の主たる事務所の所在地) <small>(基幹型・協力型記入)</small>		〒 105-8521 東京都港区芝大門1-1-3 電話 : 03-3438-1311 FAX :					
5. 病院の管理者の氏名 <small>(基幹型・協力型記入)</small>		フリガナ ナガカネ ヨシナリ 姓 永金 名 義成					
6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数 <small>(基幹型記入)</small>		* 別紙1に記入 研修管理委員会の全ての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。					
7. 病院群の構成等 <small>(基幹型記入)</small>		* 別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。					
8. 病院のホームページアドレス <small>(基幹型・協力型記入)</small>		https://www.kyoto2.jrc.or.jp/					

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－2－

病院施設番号：

030477

臨床研修病院の名称：京都第二赤十字病院

		※		
9. 医師（研修医を含む。）の員数 (基幹型・協力型記入)		常勤： 230 名、非常勤（常勤換算）： 14.8 名 計（常勤換算）： 244.8 名、医療法による医師の標準員数： 52.07 名 * 基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式A-3に記入		
10. 救急医療の提供の実績 (基幹型・協力型記入)		救急病院認定の告示	告示年月日： 1964年11月4日 、告示番号：第 522 号	
		医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 2. 第二次救急医療機関 ③ 第三次救急医療機関	
		救急専用診療（処置）室の有無	① 有 (162,690) m ² 0. 無	
		救急医療の実績	前年度の件数： 16,167 件 (うち診療時間外： 12,827 件) 1日平均件数： 44.3 件 (うち診療時間外： 35 件) 救急車取扱件数： 6,857 件 (うち診療時間外： 4,910 件)	
		診療時間外の勤務体制	医師： 8 名、看護師及び准看護師： 4 名	
		指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入	
		救急医療を提供している診療科	内科系(① 有 0. 無) 外科系(① 有 0. 無) 小児科(① 有 0. 無) その他(産婦人科)	
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） (基幹型・協力型記入)		1. 一般： 664 床、2. 精神： 床、3. 感染症： 床 4. 結核： 床、5. 療養： 床		
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 (基幹型・協力型記入)		* 別紙2に記入 年次報告の場合には、患者数は報告年度の前年度分、研修医の数は報告年度の前年度分の実績と当年度分の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度の前年度分、研修医の数は届出年度の次年度分及び次々年度分の想定を記入。		
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） (基幹型・協力型記入)		1. 一般： 10.5 日、2. 精神： 日、3. 感染症： 日 4. 結核： 日、5. 療養： 日		
14. 前年度の分娩件数 (基幹型・協力型記入)		正常分娩件数： 83 件、異常分娩件数： 35 件		
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 (基幹型・協力型記入)		開催回数	前年度実績： 6 回、今年度見込： 6 回 ※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記入	
		指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入	
		剖検数	前年度実績： 5 件、今年度見込： 6 件	
		剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室	① 有 0. 無 () 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 (基幹型・協力型記入)		研修医の宿舎	1. 有 (単身用： 戸、世帯用： 戸) ① 無 (住宅手当： 28,500 円) 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。	
		研修医室	① 有 (1 室) 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。	
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 (基幹型・協力型記入)		図書室の広さ	(98.235) m ²	
		医学図書数	国内図書： 2,588 冊、国外図書： 69 冊	
		医学雑誌数	国内雑誌： 395 種類、国外雑誌： 117 種類	
		図書室の利用可能時間	0:00 ~ 24:00 24時間表記	
		文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース(① 有 0. 無)、教育用コンテンツ(① 有 0. 無)、 その他(インターネット利用可能) 利用可能時間 (0:00 ~ 24:00) 24時間表記	
医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター (① 有 0. 無)、 その他(静脈穿刺台 数台、ACLS用 4台、CUC穿刺用 1台等)			

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－3－

病院施設番号：

030477

臨床研修病院の名称：京都第二赤十字病院

18. 病歴管理体制 (基幹型・協力型記入)		病歴管理の責任者の氏名及び役職	リガナ ミヤモト トミオ 氏名(姓) 宮本 富夫 役職 情報マネジメント課長	
		診療に関する諸記録の管理方法	① 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に：)	
		診療録の保存期間	(5)年間保存	
		診療録の保存方法	1. 文書 ② 電子媒体 その他(具体的に：)	
19. 医療安全管理体制 (基幹型・協力型記入)		安全管理者の配置状況	① 有 (1 名) 0. 無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。	
		安全管理部門の設置状況	職員：専任 (4)名、兼任 (9)名 主な活動内容：例)「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等 ①医療事故発生の実態の把握及び解析②医療事故の再発対策・検討③発生した医療事故及び医療紛争への対応等④医療事故事例等の情報収集と周知⑤医療安全に関する教育及び研修	
		患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口の責任者の氏名等： リガナ ヒラタ マナブ 氏名(姓) 平田 (名) 学 役職 副院長 対応時間 (8:30 ~ 17:00) 24時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無： ① 有 0. 無	
			① 有 0. 無	
			指針の主な内容： 医療事故防止対策と対応 ・医療事故発生対応	
			年 (12)回	
		医療に係る安全管理委員会の開催状況	活動の主な内容： インシデント・アクシデントレポートの報告及び対策	
			年 (5)回	
			研修の主な内容： 医療安全のための研修（全職員研修対象）	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	医療機関内における事故報告等の整備： ① 有 0. 無	
その他の改善のための方策の主な内容： その他の改善のための方策の主な内容：報告されたインシデント・アクシデントレポートのうち、重大なものについては、医療安全推進室会議にて実態把握並びに解析を行い、必要に応じて具体的な改善方策を検討の上策定している。				
20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 (基幹型・協力型記入)		修了： 16 名 中断： 0 名		
21. 現に受け入れている研修医の数 (基幹型・協力型記入)		前々年度	前年度	当該年度
		1 年	17	17
		2 年	18	16
22. 受入可能定員 (基幹型・協力型記入)	許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出	許可病床数 (664) 床 ÷ 10 = (66.4) 名		
	患者数から算出	年間入院患者数 (15,834) 人 ÷ 100 = (158.34) 名		
23. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 (基幹型・協力型記入) 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。		1. 精神保健福祉士： 5 名 (常勤： 5 名、非常勤： 0 名)		
		2. 作業療法士： 7 名 (常勤： 7 名、非常勤： 0 名)		
		3. 臨床心理技術者： 名 (常勤： 名、非常勤： 名)		
		9. その他の精神科技術職員： 2 名 (常勤： 2 名、非常勤： 0 名)		
24. 臨床研修に関する第三者評価の受審状況 (基幹型記入) JCEPによる評価受審の有無を記載してください。		① 有 (2024年12月1日) 0. 無 有を選択した場合には、直近の受審日を記入してください。 受審状況有りの場合、結果の公表 ① 有 0. 無		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－4－

病院施設番号：

030477

臨床研修病院の名称： 京都第二赤十字病院

項目27までについては、報告時に必ず記入してください。		※		
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 (基幹型記入)		<p>* 別紙5に記入</p> <p>年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。</p>		
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 (基幹型・協力型記入)		<p>女性 1年次研修医 (0) 名 2年次研修医 (0) 名</p> <p>男性 1年次研修医 (0) 名 2年次研修医 (0) 名</p>		
<p>27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 (基幹型・協力型記入)</p>		院内保育所	<p>院内保育所の有無 (① 有 0. 無)</p> <p>有を選択した場合、開所時間を記入してください (7:30 ~ 18:00)</p>	
			<p>病児保育 (① 有 0. 無)</p> <p>夜間保育 (① 有 0. 無)</p>	
			<p>上記保育所は研修医の子どもに使用可能か (① 可 0. 不可)</p>	
		保育補助	<p>ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (① 有 0. 無)</p> <p>その他の補助 (具体的に)</p>	
			<p>休憩場所 (① 有 0. 無)</p> <p>授乳スペース (1. 有 ① 無)</p>	
			<p>()</p>	
		研修医のライフィベントの相談窓口	<p>① 有 0. 無</p> <p>窓口の名称がある場合記入 ()</p> <p>窓口の専任担当 1. 有 () 名 ① 無</p>	
			<p>窓口の名称を記入 ()</p> <p>窓口の専任担当 1. 有 () 名 ① 無</p>	
		各種ハラスマントの相談窓口		
<p>※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。</p>				
28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。		<p>研修プログラムの名称： 京都第二赤十字病院臨床研修プログラム</p> <p>プログラム番号： _____</p>		
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)		<p>1年次： 16 名 2年次： 16 名</p>		
30. 研修医の募集及び採用の方 法 (基幹型記入)		研修プログラムに関する問い合わせ先	<p>フリガナ オカノ シンジ 氏名(姓) 岡野 (名) 晋治</p> <p>所属 第1外科 役職 部長</p> <p>電話： 075-231-5171 FAX： 075-256-3451</p> <p>e-mail : kensyu@kyoto2.jrc.or.jp</p> <p>URL : https://www.kyoto2.jrc.or.jp/</p>	
			<p>住所 〒 602-8026 京都府京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町355-5</p>	
資料請求先			<p>担当部門 担当者氏名 フリガナ カワサキ トモコ 姓 川崎 名 智子</p> <p>電話： 075-231-5171 FAX： 075-256-3451</p> <p>e-mail : kensyu@kyoto2.jrc.or.jp</p> <p>URL : https://www.kyoto2.jrc.or.jp/</p>	

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－5－

病院施設番号：

030477

臨床研修病院の名称：京都第二赤十字病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

30. 研修医の募集及び採用の方 法（続き） <small>（基幹型記入）</small>	募集方法	<input checked="" type="radio"/> 公募 2. その他（具体的に：） 		
	応募必要書類 <small>（複数選択可）</small>	<input checked="" type="radio"/> 履歴書、 <input checked="" type="radio"/> 卒業(見込み)証明書、 <input checked="" type="radio"/> 成績証明書、 4. 健康診断書、5. その他（具体的に：） 		
	選考方法 <small>（複数選択可）</small>	<input checked="" type="radio"/> 面接 <input checked="" type="radio"/> 筆記試験 その他（具体的に：） 		
	募集及び選考の時期	募集時期：6月28日頃から 選考時期：8月31日頃から		
	マッチング利用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 0. 無		
31. 研修プログラムの名称及び概要 <small>（基幹型記入）</small>		概要：* 別紙3に記入 （作成年月日：2025年4月30日）		
32. プログラム責任者の氏名等（副プログラム責任者 が配置されている場合には、その氏名等） <small>（基幹型記入）</small> * プログラム責任者の履歴を様式A-2に記入 * 副プログラム責任者が配置されている場合にあつては、副プログラム責任者の履歴を様式A-2に記入	(プログラム責任者) フリガナ オカノ シンジ 氏名(姓) 岡野 晋治 所属 第1外科 役職 部長			
	(副プログラム責任者) <input checked="" type="radio"/> 有 (1名) 0. 無			
	* 別紙4に記入			
34. インターネットを用いた評価システム		<input checked="" type="radio"/> 有 (EPIC) その他 () 0. 無		
35. 研修開始時期 <small>（基幹型、地域密着型記入）</small>		2026年4月1日		
36. 研修医の待遇 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	処遇の適用 <small>（基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。）</small>	1. 基幹型臨床研修病院と同一の待遇とする。 <small>1を選択した場合には、以下の研修医の待遇の項目については、記入不要です。</small> <input checked="" type="radio"/> 病院独自の待遇とする。		
	常勤・非常勤の別	<input checked="" type="radio"/> 常勤 2. 非常勤		
	研修手当	一年次の支給額(税込み) 基本手当／月 (270,000 円) 基本手当／月 (285,000 円) 賞与／年 (400,000 円) 賞与／年 (400,000 円)		
	勤務時間	基本的な勤務時間 (8:30 ~ 17:00) 24時間表記 休憩時間 (45分間)		
	休暇	時間外勤務の有無： <input checked="" type="radio"/> 有 0. 無 有給休暇 (1年次：13日、2年次：14日) 夏季休暇 (<input checked="" type="radio"/> 有 0. 無) 年末年始 (<input checked="" type="radio"/> 有 0. 無) その他休暇 (具体的に：創立記念日(5月1日))		
	当直	回数 (約 5回／月)		
	研修医の宿舎(再掲)	1. 有 (単身用：戸、世帯用：戸) <input checked="" type="radio"/> 無 (住宅手当：28,500 円) <small>有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</small>		
	研修医室(再掲)	<input checked="" type="radio"/> 有 (1室) 0. 無 <small>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</small>		
	社会保険・労働保険	公的医療保険 (社会保険) 公的年金保険 (厚生年金保険) 労働者災害補償保険法の適用 (<input checked="" type="radio"/> 有 0. 無) 国家・地方公務員災害補償法の適用 (1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無) 雇用保険 (<input checked="" type="radio"/> 有 0. 無)		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－6－

病院施設番号：

030477

臨床研修病院の名称：京都第二赤十字病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の待遇(続き) (基幹型・協力型記入)	健康管理	健康診断 (年 2 回) その他 (具体的に :) 医師賠償責任保険の扱い 病院において加入 (① する 0. しない) 個人加入 (1. 強制 ② 任意) 外部の研修活動 学会、研究会等への参加 : (① 有 0. 無) 学会、研究会等への参加費用支給の有無 : (① 有 0. 無)	
	院内保育所(再掲)	院内保育所の有無 (① 有 0. 無) 有を選択した場合、開所時間を記入してください (7:30 ~ 18:00)	
		病児保育 (① 有 0. 無) 夜間保育 (① 有 0. 無)	
		上記保育所は研修医の子どもに使用可能か (① 可 0. 不可)	
	保育補助(再掲)	ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (① 有 0. 無)	
		その他の補助 (具体的に)	
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所(再掲)	休憩場所 (① 有 0. 無) 授乳スペース (1. 有 ② 無)	
		()	
		① 有 0. 無 研修医のライフィイベントの相談窓口(再掲) 窓口の名称がある場合記入 () 窓口の専任担当 1. 有 () 名 ② 無	
	各種ハラスメントの相談窓口(再掲)	窓口の名称を記入 () 窓口の専任担当 1. 有 () 名 ② 無	
37. 研修医手帳(基幹型記入)		① 有 0. 無	
38. 連携状況(基幹型記入)		* 様式A-6に記入	

※欄は、記入しないこと。

7. 病院群の構成等

様式A－10 別表

基幹型又は地域密着型臨床研修病院の名称（所在都道府県）： 京都第二赤十字病院 （京都府）

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在 都道府県	二次 医療圏	名称	新規	所在 都道府県	二次 医療圏	追加・ 削除	名称	新規	所在 都道府県	二次 医療圏	追加・ 削除	名称	新規	名称	定員
京都府	京都・ 乙訓	京都第二赤十字病院 (病院施設番号： 030477)		京都府	丹後		京丹後市立弥栄病院 (病院施設番号： 031025)					(病院施設番号：)		京都第二赤十字病院臨床研 修プログラム	16
				京都府	丹後		京丹後市立久美浜病院 (病院施設番号： 031726)					(病院施設番号：)			
				京都府	京都・ 乙訓		京都市立京北病院 (病院施設番号： 031729)					(病院施設番号：)			
				京都府	京都・ 乙訓		医療法人三幸会第二北山病院 (病院施設番号： 031730)					(病院施設番号：)			
				京都府	京都・ 乙訓		医療法人三幸会北山病院 (病院施設番号： 031731)					(病院施設番号：)			
				京都府	中丹		舞鶴赤十字病院 (病院施設番号： 076187)					(病院施設番号：)			
				京都府	京都・ 乙訓		京都府立医科大学附属病院 (病院施設番号： 030483)					(病院施設番号：)			
							(病院施設番号：)					(病院施設番号：)			
							(病院施設番号：)					(病院施設番号：)			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

当院は京都市内の中核病院として各科がそろっており、十分なプライマリケアを学ぶために必要な研修医教育を一貫して行うことが出来るが、地域医療に関しては、京都市内ではなく同一の二次医療圏を超えた過疎地の拠点病院で研修することでより充実した研修を行えるため。

※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか、以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※ 当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。

6.研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和6年度開催回数5回）

病院施設番号： 030477 臨床研修病院の名称： 京都第二赤十字病院

氏名	所属	役職	備考
永金義成	京都第二赤十字病院	副院長・脳神経内科部長	研修管理委員長・指導医
岡野晋治	京都第二赤十字病院	第1外科部長	プログラム責任者・指導医
魚嶋伸彦	京都第二赤十字病院	院長	指導医
成宮博理	京都第二赤十字病院	第2救急科部長	副プログラム責任者・指導医
西川正典	京都第二赤十字病院	歯科口腔外科副部長	
宇野耕治	京都第二赤十字病院	院長補佐・消化器内科部長	指導医
加納原	京都第二赤十字病院	小児科部長	指導医
榎村史織	京都第二赤十字病院	産婦人科部長	指導医
前林佳朗	京都第二赤十字病院	こころの医療科部長	指導医
石井亘	京都第二赤十字病院	第1救急科部長	指導医
望月則孝	京都第二赤十字病院	第2麻酔科部長	指導医
石野嘉佳子	京都第二赤十字病院	看護部長	指導医
山崎真裕	京都第二赤十字病院	第1検査部長	指導医
友金幹視	京都第二赤十字病院	薬剤部長	
浅山尚紀	京都第二赤十字病院	事務部長	
川崎智子	京都第二赤十字病院	教育研修課長	
澤田親男	北山病院	院長	研修実施責任者
守時通演	第二北山病院	院長代行	研修実施責任者
神谷匡昭	弥栄病院	院長	研修実施責任者
岩見均	久美浜病院	特別参与	研修実施責任者
安田達行	京北病院	院長	研修実施責任者
片山義敬	舞鶴赤十字病院	院長	研修実施責任者
佐和貞治	京都府立医科大学附属病院	院長	研修実施責任者
諸富徹	京都大学大学院経済学研究科教授	京都大学大学院経済学研究科教授	外部委員
沢田尚久	京都第一赤十字病院 副院長	京都第一赤十字病院 副院長	外部委員

※ 1ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。

「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。

欄が足りない場合には、セルの挿入により対応すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

(令和6年度分)

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

区分	内科	救急部門	外科	麻酔科（部門）	小児科	産婦人科	精神科	病院で定めた必修科目の診療科							その他の研修を行う診療科							合計		
								整形外科	形成外科	泌尿器科	管耳鼻食道喉外科・科気	心臓血管外科	脳神経外科	呼吸器外科	皮膚科	眼科	放射線科	病理診断科	健診部	検査部	腫瘍内科			
年間入院患者実数 （）内は救急件数又は分娩件数	5,734	2,320	924	0	1,492	721	116	605	0	1,319	210	991	688	164	169	207	104	791	0	0	0	0	0	15,834
年間新外来患者数	4,155	8,831	419	0	957	742	0	0	168	1,286	657	560	1,096	124	310	53	584	799	235	0	0	0	0	20,976
1日平均外来患者数 （）内は年間外来診療日数	431.5	38.2	69.2	0.0	54.0	55.7	0.0	0.0	57.4	106.2	31.6	56.8	45.6	11.3	24.7	14.2	50.2	66.2	24.6	0.0	0.0	0.0	0.0	/
平均在院日数	11.2	6.8	9.8	0.0	4.5	6.1	7.0	5.9	0.0	17.1	16.7	6.8	6.7	16.1	19.8	7.6	11.6	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	/	
常勤医師数 （うち臨床研修指導医（指導医）数）	60.0	14.0	15.0	13.0	11.0	6.0	0.0	0.0	2.0	12.0	4.0	5.0	6.0	3.0	4.0	3.0	4.0	6.0	12.0	3.0	2.0	2.0	2.0	189.0
	(31)	(5)	(10)	(5)	(4)	(3)	(0)	(0)	(1)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(1)	(1)	(2)	(1)	(1)	(0)	(0)	(78)

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の継越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 基幹型指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。（様式任意）

12.診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令 和 6 年 度)		臨 床 研 修 病 院 病 院 の 名 称										京都第二赤十字病院									
		病 院 施 設 番 号										030477									
基幹型臨床研修病院名		担当分野		1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	13~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週					
京都第二赤十字病院	内 科	13	13	13	9	9	8	7	5	5	6	6	6	6	8	10					
京都第二赤十字病院	救 急 部 門	4	4	3	3	3	4	5	5	5	3	2	2	2	1	1					
京都第二赤十字病院	外 科	2	1	1	1	2	2	3	3	2	2	2	2	2	2	0					
京都第二赤十字病院	麻 醉 科	3	3	2	3	1	1	1	2	2	2	2	2	2	3	1	2				
京都第二赤十字病院	小 児 科	4	3	3	4	4	4	4	3	1	1	1	1	1	2	3	2				
京都第二赤十字病院	産 婦 人 科	1	0	2	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	0	0					
京都第二赤十字病院	精 神 科	0	1	2	2	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	2	1				
京都市立医科大学附属病院	内 科	6	6	4	2	2	2	2	2	1	1	3	3	3	3	2	1				
京都市立医科大学附属病院	麻 醉 科	0	0	0	2	2	2	2	2	3	1	1	1	1	1	1	0				
京都市立医科大学附属病院	救 急 部 門	0	0	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
京都市立医科大学附属病院	产 婦 人 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1				
京都市立医科大学附属病院	小 児 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1				
京都市立医科大学附属病院	外 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1				
京都鞍馬口医療センター	救 急 部 門	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0					
京都鞍馬口医療センター	小 児 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0					
研修医数（合計）	内 科	19	19	17	12	11	10	9	6	6	6	9	8	10	11						
	救 急 部 門	5	4	5	6	5	6	6	6	6	6	5	4	3	2						
	地 域 医 療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	外 科	2	1	1	1	2	2	3	3	2	2	2	2	3	3	1					
	麻 醉 科	3	3	2	4	3	2	3	4	3	3	3	4	3	3	4	2				
	小 児 科	4	3	3	4	4	4	4	3	2	3	3	3	3	3	5	3				
	产 婴 人 科	1	0	2	1	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1				
	精 神 科	0	1	2	2	1	2	2	2	2	2	1	1	1	1	2	1				
一般 外 来		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。

また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12.診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令 和 7 年 度)		臨 床 研 修 病 院 病 院 の 名 称												
		京都第二赤十字病院 030477												
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	13~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
京都第二赤十字病院	内科	13	13	14	11	9	9	8	6	5	6	6	8	10
京都第二赤十字病院	救急部門	4	4	3	3	3	4	5	5	5	3	2	2	2
京都第二赤十字病院	外科	2	1	1	1	2	2	3	3	3	2	2	2	0
京都第二赤十字病院	麻酔科	3	4	3	3	1	1	1	2	2	2	3	2	2
京都第二赤十字病院	小児科	4	4	3	4	4	4	4	3	2	2	3	3	2
京都第二赤十字病院	産婦人科	2	1	2	2	1	1	2	3	2	1	1	0	0
京都第二赤十字病院	精神科	0	1	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	1
京都第二赤十字病院	地域医療	0	0	3	4	4	3	4	4	4	3	4	4	3
京都府立医科大学附属病院	内科	6	6	4	3	2	2	2	1	1	3	3	2	1
京都府立医科大学附属病院	救急部門	0	0	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
京都府立医科大学附属病院	外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
京都府立医科大学附属病院	麻酔科	0	0	0	2	2	2	2	3	1	1	1	1	0
京都府立医科大学附属病院	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
京都府立医科大学附属病院	産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	内科	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	救急部門	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	麻酔科	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都鞍馬口医療センター	救急部門	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
京都鞍馬口医療センター	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
京都岡本記念病院	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修医数(合計)	内 科	20	20	19	15	12	12	11	7	6	9	9	10	11
	救 急 部 門	4	4	5	5	5	6	7	7	5	4	4	4	4
	地 域 医 療	0	0	3	4	4	3	4	4	3	4	4	4	3
	外 科	2	1	1	1	2	2	3	3	3	2	4	4	1
	麻 醉 科	3	4	3	5	3	3	4	6	3	3	4	3	2
	小 児 科	4	4	3	4	4	4	4	3	2	3	5	4	3
	産 婦 人 科	2	1	2	2	1	1	2	3	2	1	2	1	1
	精 神 科	0	1	2	2	2	2	2	1	1	1	2	2	1
一般 外 来		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期4週について1人とすること）を記入すること。

また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12.診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令 和 8 年 度)		臨 床 研 修 病 院 病 院 の 名 称												
		京都第二赤十字病院 030477												
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	13~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
		京都第二赤十字病院	内科	13	13	14	11	9	9	8	6	5	6	8
京都第二赤十字病院	救急部門	4	4	3	3	3	4	5	5	5	3	2	2	2
京都第二赤十字病院	外科	2	1	1	1	2	2	3	3	3	2	2	2	0
京都第二赤十字病院	麻酔科	3	4	3	3	1	1	1	2	2	2	3	2	2
京都第二赤十字病院	小児科	4	4	3	4	4	4	4	3	2	2	3	3	2
京都第二赤十字病院	産婦人科	2	1	2	2	1	1	2	3	2	1	1	0	0
京都第二赤十字病院	精神科	0	1	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	1
京都第二赤十字病院	地域医療	0	0	3	4	4	3	4	4	4	3	4	4	3
京都府立医科大学附属病院	内科	6	6	4	3	2	2	2	1	1	3	3	2	1
京都府立医科大学附属病院	救急部門	0	0	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
京都府立医科大学附属病院	外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
京都府立医科大学附属病院	麻酔科	0	0	0	2	2	2	2	3	1	1	1	1	0
京都府立医科大学附属病院	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
京都府立医科大学附属病院	産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	内科	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	救急部門	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都鞍馬口医療センター	救急部門	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
京都鞍馬口医療センター	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
京都岡本記念病院	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修医数(合計)	内科	20	20	19	15	12	12	11	7	6	9	9	10	11
	救急部門	4	4	5	5	5	6	7	7	5	4	4	4	4
	地域医療	0	0	3	4	4	3	4	4	4	3	4	4	3
	外科	2	1	1	1	2	2	3	3	3	2	4	4	1
	麻酔科	3	4	3	5	3	3	4	6	3	3	4	3	2
	小児科	4	4	3	4	4	4	4	3	2	3	5	4	3
	産婦人科	2	1	2	2	1	1	2	3	2	1	2	1	1
	精神科	0	1	2	2	2	2	2	1	1	1	2	2	1
		一般外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。

また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12.診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令 和 9 年 度)		臨 床 研 修 病 院 病 院 の 名 称												
		京都第二赤十字病院 030477												
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	13~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
京都第二赤十字病院	内科	13	13	14	11	9	9	8	6	5	6	6	8	10
京都第二赤十字病院	救急部門	4	4	3	3	3	4	5	5	5	3	2	2	2
京都第二赤十字病院	外科	2	1	1	1	2	2	3	3	3	2	2	2	0
京都第二赤十字病院	麻酔科	3	4	3	3	1	1	1	2	2	2	3	2	2
京都第二赤十字病院	小児科	4	4	3	4	4	4	4	3	2	2	3	3	2
京都第二赤十字病院	産婦人科	2	1	2	2	1	1	2	3	2	1	1	0	0
京都第二赤十字病院	精神科	0	1	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	1
京都第二赤十字病院	地域医療	0	0	3	4	4	3	4	4	4	3	4	4	3
京都府立医科大学附属病院	内科	6	6	4	3	2	2	2	1	1	3	3	2	1
京都府立医科大学附属病院	救急部門	0	0	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
京都府立医科大学附属病院	外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
京都府立医科大学附属病院	麻酔科	0	0	0	2	2	2	2	3	1	1	1	1	0
京都府立医科大学附属病院	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
京都府立医科大学附属病院	産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	内科	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	救急部門	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	麻酔科	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
京都府立医科大学附属病院北部医療センター	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都鞍馬口医療センター	救急部門	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
京都鞍馬口医療センター	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
京都岡本記念病院	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修医数(合計)	内科	20	20	19	15	12	12	11	7	6	9	9	10	11
	救急部門	4	4	5	5	5	6	7	7	5	4	4	4	4
	地域医療	0	0	3	4	4	3	4	4	4	3	4	4	3
	外科	2	1	1	1	2	2	3	3	3	2	4	4	1
	麻酔科	3	4	3	5	3	3	4	6	3	3	4	3	2
	小児科	4	4	3	4	4	4	4	3	2	3	5	4	3
	産婦人科	2	1	2	2	1	1	2	3	2	1	2	1	1
	精神科	0	1	2	2	2	2	2	1	1	1	2	2	1
		一般外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。

また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

29.研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号:

病院施設番号: 030477

臨床研修病院群番号: 0304775

臨床研修病院の名称: 京都第二赤十字病院

臨床研修病院群名: 京都第二赤十字病院臨床研修病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1.研修プログラムの名称	京都第二赤十字病院臨床研修プログラム				
2.研修プログラムの特色	指導医と1:1の関係で臨床指導を行う。お互いの連携を取りやすくさせ、地域医療を2ヶ月研修し、プライマリケアを修得します。				
3.臨床研修の目標の概要	初期治療、救急医療などの基本的知識及び技術を習得するだけだなく「思いやり」と「患者の立場に立って」診療ができる、社会人として尊敬される医師の養成を目標とする。 画一的でなく自由な発想を育てるとともに、症例検討会・CPCなど勉強する機会を設け医師者だけでなく医学者としての姿勢を学ばせる。				
4.研修期間	(2年)(原則として、「2年」と記入してください。)				
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。				
5.臨床研修を行う分野	<p>研修分野ごとの病院又は施設(研修分野ごとの研修期間)</p> <p>* 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、 適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称(病院施設番号)を記入してください。</p> <p>* 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。</p> <p>各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。</p> <p>* 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。</p>				
(記入例) ××科	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来	
	1234567	○○病院	○週	○週	
必修科目・分野	内科	030477 031025 031726	京都第二赤十字病院 京丹後市立弥栄病院 京丹後市立久美浜病院	24週	1週
	救急部門	030477	京都第二赤十字病院	8週	
	救急部門(麻酔)	030477	京都第二赤十字病院	4週	
	地域医療	034245 076187 031025 031726	京都市立京北病院 舞鶴赤十字病院 京丹後市立弥栄病院 京丹後市立久美浜病院	8週	一般外来 3週 在宅診療 1.5週
	外科	030477	京都第二赤十字病院	4週	1週
	小児科	030477	京都第二赤十字病院	8週	1週
	産婦人科	030477	京都第二赤十字病院	4週	
	精神科	030477 031730 031731	京都第二赤十字病院 医療法人三幸会 第二北山病院 医療法人三幸会 北山病院	4週	
	一般外来 (単独実施のみ)			週	
	病院修で科定めた	麻酔科	030477	京都第二赤十字病院	4週
外科系		030477	京都第二赤十字病院	4週	週
				週	週
				週	週
				週	週
選択科目		030477 031730 031731 034245 076187 031025 031726	京都第二赤十字病院 医療法人三幸会 第二北山病院 医療法人三幸会 北山病院 京都市立京北病院 舞鶴赤十字病院 京丹後市立弥栄病院 京丹後市立久美浜病院 京都府立医科大学附属病院	24週	週
				週	週

備考:記載の研修期間は最低を示す。

基幹型臨床研修病院での研修期間…最低52週
臨床研修協力施設での研修期間…最大12週

研修プログラムに規定された4週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数…0回

救急部門(必修)における麻酔科の研修期間…4週

一般外来の研修を行う診療科…内科、外科、小児科、地域医療のいずれかで4週

◆研修期間は最低研修する期間を表示している為、研修する時期により1~2週の変動があります。

◆選択科目として総合内科、血液内科、糖尿病内分泌・腎臓・膠原病内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、脳神経内科、外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児科、産婦人科、精神科、救急科、麻酔科、脳神経外科、整形外科、形成外科、眼科、耳鼻咽喉科・気管食道外科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、病理診断科、地域医療のうちいずれかを4週より5科目(20週)まで選択できます。(研修期間により最大25週)

◆外科系の詳細として、外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、呼吸器外科、心臓血管外科、耳鼻咽喉科・気管食道外科、形成外科から選択できます。

◆必修外科の診療科目として、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、泌尿器科のうちいずれかを4週より1科目選択できます。

*1: 研修病院・研修病院における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う場合に、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行なう病院又は施設の名称及び研修期間を用紙に記入した上、上記の「研修分野の順番」のページと一緒に提出して下さい。また、同様の場合は、「すべての研修プログラム」に記入されたものと添付すると、

*2:「研修分野」欄には「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること

※2-2:「研修分野」欄には、「3. 臨床研修を行な分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

*3.選択科目の研修分野の各月の研修入数については、病院ごとの研修医の受け入れ予定の中で考えられる最大の受け入数を記入すること。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。			病院施設番号 : 030477				臨床研修病院の名称 : 京都第二赤十字病院															
			臨床研修病院群番号 : 0304775				臨床研修病院群名 : 京都第二赤十字臨床研修病院群															
6.研修スケジュール(二年次)																プログラム番号 : 030477509						
臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。*1																(No.1)						
病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野 *2	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週								
凡例 ○×病院 (○○○○○○)	内科		3	3	3	3																
凡例 ▲■病院 (▲▲▲▲▲■)	外科						3	3	3	3												
京都第二赤十字病院 (030477)	外科系	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2				
京都第二赤十字病院 医療法人三幸会 第二北山病院 医療法人三幸会 北山病院 (030477 031730 031731)	精神科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2				
京都市立京北病院 舞鶴赤十字病院 京丹後市立弥栄病院 京丹後市立久美浜病院 (034245 076187 031025 031726)	地域医療	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3				
京都第二赤十字病 (030477)	一般外来	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3				
京都第二赤十字病院 医療法人三幸会 第二北山病院 医療法人三幸会 北山病院 京都市立京北病院 舞鶴赤十字病院 京丹後市立弥栄病院 京丹後市立久美浜病院 京都府立医科大学附属病院 030477 031730 031731 034245 076187 031025 031726 030483	選択	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8				

* 1: 臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法(たすきかけ方式等)を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

* 2:「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

* 3:選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

病院施設番号：030477 臨床研修病院の名称：京都第二赤十字病院

担当分野①	担当分野② (兼任及び その他の 診療科)	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 (常勤or 非常勤)	指導医講習会等の受講 経験 有：○ 無：×	受講した 指導医講習会等名	備考
1 内科	内科	血液内科	○	魚崎 伸彦	京都第二赤十字病院	院長	37	常勤	○	日本内科学会認定医 臨床研修協議会令和2年度 プログラム責任者養成講習 平成29年度 第11回	4
2 内科	内科	血液内科	○	河田(飯田) 英里	京都第二赤十字病院	部長	24	常勤	○	京都府立医科大学附属病 院指導医講習会	4
2 内科	内科	血液内科	○	佐々木 真々	京都第二赤十字病院	副部長	21	常勤	○	日本内科学会総合内科專 門医 日本赤十字社第2回臨床 日本内科学会認定内科医	4
3 内科	内科	血液内科	○	山口 順子	京都第二赤十字病院	医長	13	常勤	○	令和5年度第17回京都府立 医科大学附属病院指導医	4
3 内科	内科	血液内科	○	水原 健太郎	京都第二赤十字病院	医長	11	常勤	○	第36回日本赤十字社 臨床研修指導医講習会	4
4 内科	内科	代謝・内分泌内 科 腹原病内科	○	山崎 真裕	京都第二赤十字病院	部長	28	常勤	○	日本内科学会認定内科医 日本糖尿病学会専門医 日本糖尿病学会認定指道 平成25年度第1回京都府立 医科大学附属病院指導医 講習会	4
4 内科	内科	代謝・内分泌内 科	○	浅野 麻衣	京都第二赤十字病院	副部長	24	常勤	○	第3回三井記念病院臨床研 修指導医講習会	4
5 内科	内科	代謝・内分泌内 科	○	加藤 さやか	京都第二赤十字病院	医長	16	常勤	○	日本内科学会 認定内科 日本内科学会認定内科專 門医 平成28年度第10回京都府	4
5 内科	内科	腎臓内科	○	塩津 弥生	京都第二赤十字病院	部長	20	常勤	○	日本内科学会認定内科医 日本内科学会認定内科專 門医 平成29年度第10回京都府	4
6 内科	内科	腎臓内科	○	上原 乃梨子	京都第二赤十字病院	医長	13	常勤	○	日本内科学会第19回指導医 のための教育ワーク	4
6 内科	内科	腎臓内科	○	仲井 邦浩	京都第二赤十字病院	医師	11	常勤	○	日本内科学会 認定内科医	4
7 内科	内科	膠原病内科	○	茎田 祐司	京都第二赤十字病院	副部長	17	常勤	○	日本内科学会認定医 第14回京都府立医科大学 付属病院指導医講習会	4
7 内科	内科	膠原病内科	○	祖父江 秀晃	京都第二赤十字病院	医師	11	常勤	×		
8 内科	内科	膠原病内科	○	笠原 亜希子	京都第二赤十字病院	医師	15	常勤	×		
8 内科	内科	消化器内科	○	宇野 耕治	京都第二赤十字病院	部長	34	常勤	○	第1回京都第二赤十字病院 臨床研修指導医養成講習会	4
9 内科	内科	消化器内科	○	盛田 篤広	京都第二赤十字病院	部長	29	常勤	○	日本内科学会認定医 京都府医師会第6回指導医 のための教育ワーク	4
9 内科	内科	消化器内科	○	河村 卓二	京都第二赤十字病院	副部長	27	常勤	○	京都府医師会第8回指導医 のための教育ワーク	4
10 内科	内科	消化器内科 緩和ケア科	○	真田 香澄	京都第二赤十字病院	副部長	20	常勤	○	日本内科学会認定内科 医・指導医 日本病院会2023年度第2回	4
10 内科	内科	消化器内科	○	萬代 晃一朗	京都第二赤十字病院	副部長	20	常勤	○	第37回日本赤十字社 臨床研修指導医講習会	4
11 内科	内科	消化器内科 腫瘍内科	○	白川 敦史	京都第二赤十字病院	部長	18	常勤	○	日本内科学会認定医 日本病院会2019年度第3回 臨床研修指導医養成講習	4
11 内科	内科	消化器内科	○	堀田 祐馬	京都第二赤十字病院	医長	16	常勤	○	日本内科学会総合内科專 門医 日本内科学会認定内科医	4
12 内科	内科	消化器内科	○	吉本 隆晃	京都第二赤十字病院	医師	10	常勤	×	日本内科学会認定内科医 ・総合内科専門医	
12 内科	内科	消化器内科	○	中村(清水) 志歩	京都第二赤十字病院	医師	9	常勤	×	日本内科学会認定内科専門医	
13 内科	内科	消化器内科	○	佐伯 洋輔	京都第二赤十字病院	医師	5	常勤	×		
13 内科	内科	循環器内科	○	白石 淳	京都第二赤十字病院	部長	30	常勤	○	平成22年度 第4回 京都 府立医科大学附属病院指 導医講習会	4
14 内科	内科	循環器内科 検査部	○	井上 啓司	京都第二赤十字病院	部長	33	常勤	○	日本内科学会認定医 第1回京都府第一赤十字病院 循環器医養成講習会	4
14 内科	内科	循環器内科	○	小出 正洋	京都第二赤十字病院	副部長	21	常勤	○	日本内科学会認定医 日本病院会 第10回指導 医のための教育ワーク ショッピング	4
15 内科	内科	循環器内科	○	佐分利 誠	京都第二赤十字病院	医長	14	常勤	○	日本病院会2023年度第1回 臨床研修指導医講習会	4
15 内科	内科	循環器内科	○	瀧上 雅雄	京都第二赤十字病院	医長	14	常勤	○	日本内科学会認定医・総 合内科専門医 日本病院会2023年度第3回	4
16 内科	内科	循環器内科	○	民西 俊太	京都第二赤十字病院	医師	12	常勤	×	日本内科学会認定医・総 合内科専門医	
16 内科	内科	循環器内科	○	辻 弓佳	京都第二赤十字病院	医師	12	常勤	×	日本内科学会認定医・総 合内科専門医	
17 内科	内科	循環器内科	○	大倉 孝史	京都第二赤十字病院	医師	11	常勤	×	日本内科学会認定医	
17 内科	内科	循環器内科	○	西村 哲朗	京都第二赤十字病院	医師	10	常勤	×		
18 内科	内科	呼吸器内科	○	塩津 伸介	京都第二赤十字病院	部長	23	常勤	○	第13回日本赤十字社指導 医養成講習会 日本内科学会 認定内科	4
18 内科	内科	呼吸器内科	○	平井 聰一	京都第二赤十字病院	医師	10	常勤	×		
19 内科	内科	呼吸器内科	○	野口 進	京都第二赤十字病院	医長	16	常勤	○	第12回滋賀県病院協会臨 床研修指導医講習会	4
19 内科	内科	呼吸器内科	○	山本(高田) 千恵	京都第二赤十字病院	医長	14	常勤	○	第16回京都府立医科大学 附属病院指導医講習会	4

病院施設番号：030477 臨床研修病院の名称：京都第二赤十字病院

担当分野①	担当分野② (兼任及び その他の 診療科)	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 (常勤or 非常勤)	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	受講した 指導医講習会等名	備考
20 内科	内科	呼吸器内科	○	中郡 光太	京都第二赤十字病院	医師	10	常勤	×		
20 内科	内科	呼吸器内科	○	笛倉 美咲	京都第二赤十字病院	医師	6	常勤	×		
21 内科	内科	脳神経内科	○	永金 義成	京都第二赤十字病院	副院長	29	常勤	○	平成22年度第4回京都府立 医科大学附属病院指導医 講習会	3・4
21 内科	内科	脳神経内科	○	徳田 直輝	京都第二赤十字病院	副部長	16	常勤	○	日本医師会第13回指導医 のための教育ワーク ショップ	4
22 内科	内科	脳神経内科	○	山本 敦史	京都第二赤十字病院	医長	14	常勤	○	日本赤十字社第28回臨床 研修指導医養成講習会	4
22 内科	内科	脳神経内科	○	小椋(井上) 史織	京都第二赤十字病院	医長	13	常勤	○	日本内科学会認定内科医 医・指導医	4
23 内科	内科	脳神経内科	○	前園(神鳥) 恵子	京都第二赤十字病院	医長	13	常勤	×	日本内科学会認定内科医 ・指導医	
23 内科	内科	脳神経内科	○	松浦 啓	京都第二赤十字病院	医長	12	常勤	×	日本内科学会認定内科医 ・指導医	
24 内科	内科	脳神経内科	○	松岡 千絵	京都第二赤十字病院	医師	7	常勤	×	日本内科学会認定内科医	
24 内科	内科	脳神経内科	○	西田 有騎	京都第二赤十字病院	医師	5	常勤	×		
25 外科	外科	外科	○	岡野 晋治	京都第二赤十字病院	部長	39	常勤	○	日本外科学会指導医 日本消化器外科学会指導 医	1・4
25 外科	外科	外科	○	谷口 史洋	京都第二赤十字病院	部長	36	常勤	○	第3回日本赤十字社指導医 養成講習会	4
26 外科	外科	腫瘍内科 緩和ケア科	○	柿原 直樹	京都第二赤十字病院	部長	33	常勤	○	日本外科学会第17回臨床 指導医養成講習会	4
26 外科	外科	外科	○	武村 学	京都第二赤十字病院	副部長	29	常勤	○	日本医師会第15回指導医 のための教育ワーク ショップ	4
27 外科	外科	外科	○	小池 浩志	京都第二赤十字病院	副部長	30	常勤	○	日本外科学会専門医 平成30年度第12回京都府 立医科大学附属病院指導 医	4
27 外科	外科	外科	○	中島 茜	京都第二赤十字病院	医長	27	常勤	○	第3回滋賀県病院協会臨床 研修指導医講習会	4
28 外科	外科	外科	○	中村 吉隆	京都第二赤十字病院	医長	25	常勤	○	日本外科学会専門医 京都医師会第8回指導医 のための教育ワーク	4
28 外科	外科	外科	○	荒谷 憲一	京都第二赤十字病院	医長	16	常勤	○	第3回滋賀県病院協会臨床 研修指導医講習会	4
29 外科	外科	外科	○	水谷 融	京都第二赤十字病院	医長	14	常勤	○	日本外科学会専門医 日本外科学会外科専門医 第6回滋賀県病院協会臨床 研修指導医講習会	4
29 外科	外科	外科	○	中林 雄大	京都第二赤十字病院	医師	9	常勤	×		
30 麻酔科(部門)	麻酔科(部門)	麻酔科	○	平田 学	京都第二赤十字病院	副院長	32	常勤	○	日本医師会第5回指導医の ための教育ワークショッ プ	4
30 麻酔科(部門)	麻酔科(部門)	麻酔科	○	望月 則孝	京都第二赤十字病院	部長	29	常勤	○	第1回京都第一赤十字病院 臨床指導医養成講習会	4
31 麻酔科(部門)	麻酔科(部門)	麻酔科	○	有吉 多恵	京都第二赤十字病院	医師	19	常勤	×		
31 麻酔科(部門)	麻酔科(部門)	麻酔科	○	三田 建一郎	京都第二赤十字病院	副部長	18	常勤	○	日本病院会平成30年度第3 回臨床研修指導医講習会	4
32 麻酔科(部門)	麻酔科(部門)	麻酔科	○	坂井 麻祐子	京都第二赤十字病院	医師	16	常勤	×		
32 麻酔科(部門)	麻酔科(部門)	麻酔科	○	岡林 志帆子	京都第二赤十字病院	医師	15	常勤	○	令和4年度第16回京都府立 医科大学附属病院指導医 講習会	4
33 麻酔科(部門)	麻酔科(部門)	麻酔科	○	佐々木 敦	京都第二赤十字病院	医師	13	常勤	○	日本赤十字社第28回臨床 研修指導医養成講習会	4
33 麻酔科(部門)	麻酔科(部門)	麻酔科	○	内匠 有里恵	京都第二赤十字病院	医師	6	常勤	×		
34 麻酔科(部門)	麻酔科(部門)	麻酔科	○	田中 達	京都第二赤十字病院	医師	7	常勤	×		
34 救急部門	救急部門	救急科 乳腺外科	○	石井 亘	京都第二赤十字病院	部長	22	常勤	○	日本外科学会専門医 全国自治体病院協議会第 129回臨床研修指導医養成 会	4
35 救急部門	救急部門	救急科	○	成宮 博理	京都第二赤十字病院	部長	26	常勤	○	日本内科学会認定内科専 門医・指導医	2・4
35 救急部門	救急部門	救急科	○	文野 裕美	京都第二赤十字病院	医長	25	常勤	○	日本赤十字社第18回臨床 研修指導医のための教 育ワークショップ	4
36 救急部門	救急部門	救急科	○	荒井 裕介	京都第二赤十字病院	副部長	15	常勤	○	令和元年度第15回京都府 立医科大学付属病院指導 医講習会	4
36 救急部門	救急部門	救急科	○	中村 嘉	京都第二赤十字病院	副部長	15	常勤	○	平成29年開催VHI機構指 導医養成講座	4
37 救急部門	救急部門	救急科	○	神鳥 研二	京都第二赤十字病院	医長	12	常勤	×	日本救急医学会専門医	
37 救急部門	救急部門	救急科	○	宮国 道太郎	京都第二赤十字病院	医長	12	常勤	×		
38 救急部門	救急部門	救急科	○	南出 大輝	京都第二赤十字病院	医師	8	常勤	×		

病院施設番号：030477 臨床研修病院の名称：京都第二赤十字病院

担当分野①	担当分野② (兼任及び その他の 診療科)	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 (常勤or 非常勤)	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	受講した 指導医講習会等名	備考
38 救急部門	救急部門	救急科	○	福盛 沙季	京都第二赤十字病院	医師	8	常勤	×		1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
39 救急部門	救急部門	救急科	○	岬 勇希	京都第二赤十字病院	医師	7	常勤	×		
39 救急部門	救急部門	救急科	○	藤原 大悟	京都第二赤十字病院	医長	14	常勤	×		
40 救急部門	救急部門	救急科	○	倉田 菜央	京都第二赤十字病院	医師	5	常勤	×		
40 小児科	小児科	小児科	○	加納 原	京都第二赤十字病院	部長	29	常勤	○	平成29年度第11回京都府立医科大学附属病院指導医講習会	4
41 小児科	小児科	小児科	○	藤井 法子	京都第二赤十字病院	副部長	28	常勤	○	平成24年度第6回京都府立医科大学附属病院指導医講習会	4
41 小児科	小児科	小児科	○	森岡 茂己	京都第二赤十字病院	医長	22	常勤	○	京都府医師会第18回指導医のための教育ワークショップ	4
42 小児科	小児科	小児科	○	小林 奈歩	京都第二赤十字病院	医長	22	常勤	○	平成27年度第9回京都府立医科大学附属病院指導医講習会	4
42 小児科	小児科	小児科	○	齋藤 多恵子	京都第二赤十字病院	医師	15	常勤	×		
43 小児科	小児科	小児科	○	久保 裕	京都第二赤十字病院	医師	14	常勤	×		
43 小児科	小児科	小児科	○	河瀬 泉	京都第二赤十字病院	医師	8	常勤	×		
44 小児科	小児科	小児科	○	岡本 賢治	京都第二赤十字病院	医師	14	常勤	×		
44 小児科	小児科	小児科	○	西村 由依	京都第二赤十字病院	医師	7	常勤	×		
45 産婦人科	産婦人科	産婦人科	○	模村 史織	京都第二赤十字病院	部長	24	常勤	○	京都府医師会第18回指導医のための教育ワークショップ	4
45 産婦人科	産婦人科	産婦人科	○	加藤 聖子	京都第二赤十字病院	副部長	22	常勤	○	京都府医師会第11回指導医のための教育ワークショップ	4
46 産婦人科	産婦人科	産婦人科	○	秋山 誠	京都第二赤十字病院	医長	16	常勤	○	日本病院会 2024年度第2回臨床研修指導医講習会	4
46 産婦人科	産婦人科	産婦人科	○	小嶋 哲	京都第二赤十字病院	医師	6	常勤	×		
47 産婦人科	産婦人科	産婦人科	○	田原 菜奈美	京都第二赤十字病院	医師	13	常勤	×		
47 精神科	精神科	精神科	○	前林 佳朗	京都第二赤十字病院	部長	32	常勤	○	第4回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	4
48 精神科	精神科	精神科	○	大矢 希	京都第二赤十字病院	医長	13	常勤	×		
48 その他	脳神経外科	脳神経外科	○	村上 陳訓	京都第二赤十字病院	部長	36	常勤	○	日本医師会第6回指導医のための教育ワークショップ	4
49 その他	脳神経外科	脳神経外科	○	大和田 敏	京都第二赤十字病院	副部長	29	常勤	×		
49 その他	脳神経外科	脳神経外科	○	武内 勇人	京都第二赤十字病院	医長	27	常勤	○	日本病院会 平成28度臨床研修指導医講習会	4
50 その他	脳神経外科	脳神経外科	○	阪本 真人	京都第二赤十字病院	医師	7	常勤	×		
50 その他	呼吸器外科	呼吸器外科	○	柳田 正志	京都第二赤十字病院	部長	29	常勤	○	全国自治体病院協議会 全国民健康保険診療施設協議会 第74回臨床研	4
51 その他	呼吸器外科	呼吸器外科	○	石川 成美	京都第二赤十字病院	医長	12	常勤	×		
51 その他	心臓血管外科	心臓血管外科	○	後藤 智行	京都第二赤十字病院	部長	24	常勤	○	日本医師会第8回指導医のための教育ワークショップ	4
52 その他	心臓血管外科	心臓血管外科	○	谷口 智史	京都第二赤十字病院	医長	20	常勤	×		
52 その他	整形外科	整形外科	○	藤原 浩芳	京都第二赤十字病院	副院長	33	常勤	○	平成20年度京都府立医科大学附属病院指導医講習会	4
53 その他	整形外科	整形外科	○	福井 康人	京都第二赤十字病院	部長	26	常勤	○	日本赤十字社第21回臨床指導医養成講習会	4
53 その他	整形外科	整形外科	○	谷口 有希子	京都第二赤十字病院	副部長	23	常勤	×		
54 その他	整形外科	整形外科	○	平井 直文	京都第二赤十字病院	副部長	23	常勤	○	日本病院会平成29年度第1回臨床研修指導医養成会	4
54 その他	整形外科	整形外科	○	喜馬 崇至	京都第二赤十字病院	医長	18	常勤	×		
55 その他	整形外科	整形外科	○	阪田 宗弘	京都第二赤十字病院	医長	17	常勤	×		
55 その他	整形外科	整形外科	○	國本 達哉	京都第二赤十字病院	医長	15	常勤	×		
56 その他	整形外科	整形外科	○	中澤 拓	京都第二赤十字病院	医師	9	常勤	×		
56 その他	形成外科	形成外科	○	恋水 謹源	京都第二赤十字病院	部長	17	常勤	○	平成27年度 第9回京都府立医科大学附属病院指導医講習会	4

病院施設番号：030477 臨床研修病院の名称：京都第二赤十字病院

担当分野①	担当分野② (兼任及び その他の 診療科)	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 (常勤or 非常勤)	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	受講した 指導医講習会等名	備考
57	その他	形成外科	○	吉澤 菜々	京都第二赤十字病院	医師	7	常勤	×		1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
57	その他	形成外科	○	田中 大基	京都第二赤十字病院	医師	6	常勤	×		
58	その他	外科	乳腺外科	○	大西 美重	京都第二赤十字病院	医長	12	常勤	○	令和3年度第15回 京都府立医科大学附属病院指導医講習会
58	その他	外科	乳腺外科	○	西田 真衣子	京都第二赤十字病院	医長	12	常勤	×	
59	その他	泌尿器科	泌尿器科	○	山田 剛司	京都第二赤十字病院	副部長	22	常勤	○	日本病院会平成26年度第1回臨床研修指導医養成会
59	その他	泌尿器科	泌尿器科	○	邵 仁哲	京都第二赤十字病院	部長	33	常勤	○	日本病院会平成28年度第2回臨床研修指導医講習会
60	その他	泌尿器科	泌尿器科	○	小倉 涼太	京都第二赤十字病院	医長	9	常勤	×	
60	その他	眼科	眼科	○	宮谷 崇史	京都第二赤十字病院	医長	12	常勤	×	
61	その他	眼科	眼科	○	浅井 洋文	京都第二赤十字病院	部長	31	常勤	○	京都府医師会第10回指導医のための教育ワークショップ
61	その他	眼科	眼科	○	後藤 周	京都第二赤十字病院	医長	16	常勤	×	
62	その他	眼科	眼科	○	弓削 広実	京都第二赤十字病院	医師	6	常勤	×	
62	その他	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	○	内田 真哉	京都第二赤十字病院	部長	34	常勤	○	日本赤十字社第16回臨床指導医養成講習会
63	その他	耳鼻咽喉科	気管食道外科	○	安田 誠	京都第二赤十字病院	部長	27	常勤	○	平成24年度第6回京都府立医科大学附属病院指導医講習会
63	その他	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	○	森岡 繁文	京都第二赤十字病院	副部長	18	常勤	○	日本耳鼻咽喉科・頭頸部外科学会耳鼻咽喉科専門医
64	その他	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	○	吉村 佳奈子	京都第二赤十字病院	医師	12	常勤	×	
64	その他	皮膚科	皮膚科	○	曾我 富士子	京都第二赤十字病院	部長	24	常勤	○	京都府医師会第11回指導医のための教育ワークショップ
65	その他	皮膚科	皮膚科	○	山里 志穂	京都第二赤十字病院	副部長	14	常勤	×	
65	その他	皮膚科	皮膚科	○	楠 恵	京都第二赤十字病院	医師	7	常勤	×	
66	その他	皮膚科	皮膚科	○	鈴木 史方里	京都第二赤十字病院	医師	5	常勤	×	
66	その他	放射線科	放射線治療科	○	清水 大介	京都第二赤十字病院	部長	24	常勤	○	平成27年度第9回京都府立医科大学附属病院指導医講習会
67	その他	放射線科	放射線治療科	○	佐々木 尚美	京都第二赤十字病院	医長	16	常勤	×	
67	その他	放射線科	放射線診断科	○	赤田 渉	京都第二赤十字病院	部長	31	常勤	○	日本医師会第5回指導医のための教育ワークショップ
68	その他	放射線科	放射線診断科	○	永野 仁美	京都第二赤十字病院	医長	18	常勤	×	
68	その他	放射線科	放射線診断科	○	松浦 莉加	京都第二赤十字病院	医長	14	常勤	×	
69	その他	放射線科	放射線診断科	○	小澤 奈々	京都第二赤十字病院	医長	15	常勤	×	
69	その他	放射線科	放射線診断科	○	山端 康之	京都第二赤十字病院	医師	14	常勤	×	
70	その他	放射線科	放射線診断科	○	金森 千佳子	京都第二赤十字病院	医長	15	常勤	×	
70	その他	放射線科	放射線診断科	○	坪井 恵亮	京都第二赤十字病院	医師	7	常勤	×	
71	病理(CPC)	病理(CPC)	病理診断科	○	安川 覚	京都第二赤十字病院	部長	26	常勤	○	平成28年度第10回京都府立医科大学附属病院指導医講習会
71	病理(CPC)	病理(CPC)	病理診断科	○	西村 綾子	京都第二赤十字病院	副部長	19	常勤	×	
72	病理(CPC)	病理(CPC)	病理診断科	○	菌部 優大	京都第二赤十字病院	医師	9	常勤	×	
72	その他	腫瘍内科	腫瘍内科	○	小野 寿子	京都第二赤十字病院	医長	16	常勤	×	
73	その他	臨床検査科	健診部 消化器内科		西大路 賢一	京都第二赤十字病院	部長	33	常勤	○	日本内科学会認定医 第1回京都第一赤十字病院臨床指導医養成講習会
73	その他	臨床検査科	健診部 消化器内科		釜口 麻衣	京都第二赤十字病院	副部長	26	常勤	×	
74	精神科	精神科	精神科		谷 直介	北山病院	名譽院長	54	非常勤	○	四院開催協議会主催平成17年度臨床研修指導者養成課程
74	精神科	精神科	精神科		澤田 親男	北山病院	院長	30	常勤	○	平成16年度近畿地区精神科七患者会「臨床研修指導医講習会」
75	精神科	精神科	精神科		谷川 徹	北山病院	副院長	43	常勤	○	平成27年度精神科七患者会第1回「臨床研修指導医講習会」

病院施設番号：030477 臨床研修病院の名称：京都第二赤十字病院

担当分野①	担当分野② (兼任及び その他の 診療科)	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 (常勤or 非常勤)	指導医講習会等の受講 経験 有：○ 無：×	受講した 指導医講習会等名	備考
75 精神科	精神科	精神科		山田 美和	北山病院	心療内科医長	33	常勤	○	平成27年度精神科七者懇話会第1回 「臨床研修指導医講習会」	4
76 精神科	精神科	精神科		細井 哲	北山病院		30	非常勤	○	平成30年度精神科七者懇話会第1回 「臨床研修指導医講習会」	
76 精神科	精神科	精神科		加嶋 晶子	北山病院		29	常勤	○	平成16年度近畿地区精神科七者 懇話会「臨床研修指導医講習会」	4
77 精神科	精神科	精神科		原田 倫治	北山病院	医局長	25	常勤	○	平成17年度近畿地区精神科七者 懇話会「臨床研修指導医講習会」	4
77 精神科	精神科	精神科		柏 由紀子	北山病院		24	常勤	○	平成29年度精神科七者懇話会第3回 「臨床研修指導医講習会」	4
78 精神科	精神科	精神科		大山 忠憲	北山病院	診療科長	20	常勤	○	平成28年度精神科七者懇話会第1回 「臨床研修指導医講習会」	4
78 精神科	精神科	精神科		藤岡 真央	北山病院		7	常勤	○	令和6年度精神科七者懇話会第1回 「臨床研修指導医講習会」	4
79 地域医療	総合診療科	循環器内科		瀬尾 泰正	京丹後市立久美浜病院	副院長兼泌尿器科部長	33	常勤	○	平成15年度第12回新臨床 研修指導医養成講習会	4
79 地域医療	総合診療科	消化器内科		沖田 美香	京丹後市立久美浜病院	内科部長	27	常勤	○	令和4年度第166回臨床研 修指導医講習会	4
80 地域医療	総合診療科	小児外科		今津 正史	京丹後市立久美浜病院	副院長兼外科部長	32	常勤	○	平成21年度第74回臨床研 修指導医養成講習会	4
80 地域医療	総合診療科	総合内科		山路 哲雄	京丹後市立久美浜病院	内科部長	17	常勤	○	平成27年度神戸大学医師 臨床研修指導医講習会	4
81 地域医療	総合診療科	小児外科		神部 浩輔	京丹後市立久美浜病院	外科医長	11	常勤	○	令和6年度第167回臨床研 修指導医講習会	4
81 地域医療	総合診療科	消化器外科		赤木 重典	京丹後市立久美浜病院	病院長	47	常勤	×		
82 地域医療	総合診療科	小児科		岩見 均	京丹後市立久美浜病院	特別参与	41	常勤	×		3
82 地域医療	総合診療科	泌尿器科		浦野 俊一	京丹後市立久美浜病院	副院長兼泌尿器科部長	33	常勤	○	平成15年度第11回新臨床 研修指導医養成講習会	4
83 地域医療	総合診療科	循環器内科		瀬尾 泰正	京丹後市立久美浜病院	副院長兼泌尿器科部長	33	常勤	○	平成15年度第12回新臨床 研修指導医養成講習会	4
83 地域医療	総合診療科	消化器内科		沖田 美香	京丹後市立久美浜病院	内科部長	27	常勤	○	令和4年度第166回臨床研 修指導医講習会	4
84 地域医療	総合診療科	小児外科		今津 正史	京丹後市立久美浜病院	副院長兼外科部長	32	常勤	○	平成21年度第74回臨床研 修指導医養成講習会	4
84 地域医療	総合診療科	総合内科		山路 哲雄	京丹後市立久美浜病院	内科部長	17	常勤	○	平成27年度神戸大学医師 臨床研修指導医講習会	4
85 地域医療	総合診療科	小児外科		神部 浩輔	京丹後市立久美浜病院	外科医長	11	常勤	○	令和6年度第167回臨床研 修指導医講習会	4
85 地域医療		外科		安田 達行	京都市立京北病院	院長	42年	常勤	○	R6.2.11 R5年度 第3回 臨 床研修指導医講習会修了 日本医師会開催	3・4
86 地域医療		内科		藤井 逸人	京都市立京北病院	診療部長	35年	常勤	○	H29.2.4地域医療に重点を おいた近畿厚生局指導医 講習会	4
86 地域医療	内科	循環器内科		神谷 匡昭	京丹後市立弥栄病院	院長	39	常勤	○	平成4年度 グローバル 医師養成講習会 (滋賀県立看護大学) 平成29年3月14日開催	3・4
87 地域医療	産婦人科	産婦人科		池田 義和	京丹後市立弥栄病院	特別参与	42	常勤	○	平成28年度日本医師会「指導医 のための教育ワークショップ」 修了	4
87 地域医療	総合診療科	外科		高塚 聰	京丹後市立弥栄病院	副院長兼外科部長	34	常勤	×		
88 地域医療	眼科	眼科		高原 誠治	京丹後市立弥栄病院	特別参与兼副院長	32	常勤	○	平成17年度京都大学医学部附属 病院医師臨床研修指導医講習会	4
88 地域医療	総合診療科	泌尿器科		田中 総之	京丹後市立弥栄病院	参事	36	常勤	×		
89 地域医療	総合診療科	産婦人科		高島 美佳	京丹後市立弥栄病院	婦人科部長	29	常勤	×		
89 地域医療	内科	循環器内科		足立 淳郎	京丹後市立弥栄病院	診療部長兼循環器内科部長	22	常勤	○	平成28年度地域医療に重点をお いた近畿厚生局指導医講習会	4
90 地域医療	総合診療科	総合診療		高原 文治	京丹後市立弥栄病院	総合診療科部長	17	常勤	○	平成30年度徳島県臨床研修指導 医養成講習会修了	4
90 地域医療	総合診療科	内科		大阿久 達郎	京丹後市立弥栄病院	内科部長	14	常勤	×		
91 地域医療		整形外科		片山 義敬	舞鶴赤十字病院	院長	42	常勤	○	大阪赤十字病院臨床研修 指導医養成講習会修了(H21年)	3・4
91 地域医療		内科		米山 聰嗣	舞鶴赤十字病院	副院長	33	常勤	○	京都第二赤十字病院臨床研 修指導医養成講習会(H21年)	4
92 地域医療		眼科		八木 秀和	舞鶴赤十字病院	眼科部長	29	常勤	×		
92 地域医療		内科		渡邊 晶子	舞鶴赤十字病院	第一内科医長	26	常勤	×		
93 地域医療		整形外科		仲川 春彦	舞鶴赤十字病院	整形外科部長	23	常勤	×		
93 地域医療		消化器内科		酒田 宗博	舞鶴赤十字病院	消化器科部長	28	常勤	×		

病院施設番号： 030477 臨床研修病院の名称： 京都第二赤十字病院

担当分野①	担当分野② (兼任及び その他の 診療科)	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 (常勤or 非常勤)	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	受講した 指導医講習会等名	備考
94	地域医療	眼科		小林 嶺央奈	舞鶴赤十字病院	眼科医師	7	常勤	×		1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
94	地域医療	循環器内科		宮脇 大典	舞鶴赤十字病院	循環器内科医長	11	常勤	×		
95	地域医療	外科		越智 史明	舞鶴赤十字病院	外科副部長	17	常勤	×		
95	地域医療	外科		玉井 瑞希	舞鶴赤十字病院	外科医師	8	常勤	×		
96	地域医療	整形外科		加太 佑吉	舞鶴赤十字病院	整形外科副部長	14	常勤	×		
96	地域医療	総合診療科		柳原 孝至	舞鶴赤十字病院	総合診療科部長	32	常勤	×		
97	地域医療	麻酔科		滝澤 洋之	舞鶴赤十字病院	麻酔科部長	44	常勤	○	京都第二赤十字病院臨床研 修指導医養成講習会(H21年)	4
97	地域医療	内科		西田 和夫	舞鶴赤十字病院	名誉院長	47	常勤	×		

※ 「担当分野①」欄には、内科、救急部門、外科、麻酔科、小児科、産婦人科（産科・婦人科選択可）、精神科、地域医療、病理（CPC）及びその他を記入すること。

※ 「担当分野②」には兼任している診療科、病院で定めた必修科目の診療科及びその他研修を行う診療科を記入すること。

※ 「専門分野」には呼吸器内科、消化器内科、呼吸器外科、消化器外科等を記入すること。記入した「専門分野」が選択科目の場合「選択科目の有無」に○を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入すること。

※ 研修実施責任者・・・協力型臨床研修能力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

※ 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（8月4日）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

なお、基礎研究医プログラムの指導医には、「基礎研究歴7年以上」もしくは「7年未満」いずれかを「臨床経験年数」欄に明記すること。

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること。

※ 欄が足りない場合には、セルの挿入により対応すること。

基幹型臨床研修病院の名称（所在都道府県）：京都第二赤十字病院（京都府）

研修プログラムの名称： 京都第二赤十字病院 臨床研修Ⅰ プログラム

※ 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入すこと。

研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度（プログラム開始年度）の想定を記入すること。

* 該当する項目について、基幹型臨床研修病院を筆頭にして、研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院について、施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成する基幹型臨床研修病院及び研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院の病院施設番号、病院種別（基幹型・協力型）、所在都道府県、時間外・休日労働（年単位換算）の最大想定時間数、およそその当直・日直回数（宿日直許可が取れている場合はその旨）、前年度の時間外休日労働の年単位換算実績及び、C-1水準適用の状況を記入すること。

※ 最大就定期間数は、プログラムに従事する臨床研修医が、該当する研修病院において実際に従事することが見込まれる時間数について、前年度実績も踏まえ、実能と乖離することのないよう、適切に記入すること

* 臨床研修医においては、従事する全ての業務が研修プログラムに基づくものとなるため、A水準又はC-1水準しか適用されないことに留意すること。

※棚が足りない場合には、セルの挿入により対応すること。